

人事消息

採用医師のお知らせ



平成30年1月1日付
脳神経外科
平成25年度卒
寺西 亮雄

退職医師のお知らせ

平成29年11月30日付
整形外科
廣野 由佳

理念

赤十字の基本理念に基づき、個人の尊厳および権利を尊重し質の高い医療を提供します

基本方針

1.患者さまの人権と意思を尊重した病院環境をつくります
2.急性期医療を中心にして診療を進めます
3.救急医療の充実に努めます
4.地域の医療機関等との連携を推進します

1.国内外の災害時の医療救護活動に貢献します
2.職員の教育、研修を充実させます
3.健全経営に留意して、その結果を社会に還元します

—— 私たちは患者さまの権利を尊重します ——

適切に医療を受ける権利
医療に関して知る権利
医療行為を自分で選ぶ権利
プライバシーを保障される権利
人権を尊重される権利
セカンドオピニオンを受ける権利

旭川赤十字病院職員行動規範 5つの約束

- 1.私たちは、来院される方と職員に笑顔であいさつをします
- 2.私たちは、初対面の患者さまに、自己紹介をします
- 3.私たちは、電話の最初に、部署と名前を名乗ります
- 4.私たちは、患者さまに診察や説明をしたあとに「何かわからないことやご質問はありませんか?」とお尋ねします
- 5.私たちは、院内で迷われている皆様にお声掛けをし、ご案内します

(発行)
旭川赤十字病院 地域医療連携室

〒070-8530 北海道旭川市曙1条1丁目1番1号
tel.(0166)22-8111(代表) fax.(0166)22-8287(直通)
URL <http://www.asahikawa.jrc.or.jp/> Email renkei@asahikawa.jrc.or.jp



2018年1月
冬号
—Vol.33—



2018年のご挨拶
第19回旭川赤十字病院「出前講座」のご案内
旭川赤十字病院「出前講座」医療連携の集い
がん登録の相談窓口

2018年のご挨拶

2018年、今年は医療・介護・福祉障害の3つの報酬が同時に改定となる節目の年です。地域医療にも少なからぬ影響が予測されます。また、地域医療計画が2025年に向けて総論から各論へと動き始めます。昨年私は市内のほぼすべての病院を訪問させて頂き、各病院がどのような方針をもって今回の診療報酬改定と2025年問題を乗り切ろうとしているのかに関して伺ってきました。1つの医療機関を除いて、大きな変化は予定しておらず、現状維持を目指しているようでした。しかし、先生方もお気づきのように、今、患者像が大きく変わってきています。急速に高齢化が進行し、要介護者、認知症を患った人が増えています。これまでと同じ医療提供体制では対応しきれない可能性があります。どのように対応するのかは地域の医療機関群として重要な問題です。

地域医療計画の中で、余っているものは急性期病床、不足しているものは回復期病床と在宅に対応する医療提供体制です。私も地域医療調整会議に参加していますが、この地域では病床機能に関して会議の場での調整があるとは思えません。各医療機関が独自に判断することになります。公的病院を含めて各病院が急性期病床の一部を回復期に置き換える構図が容易に見えてきます。旭川赤十字病院においても、これに沿って回復期病床を独自に持つことを視野に入れる時期かと考えています。

各医療機関を回ってもう一つ分かったことがあります。それは地域で不足していると考えられている在宅医療対応です。旭川には診療所、特に在宅に対応している診療所が少ないとされています。ところが、公的病院の中には在宅診療を行っている施設が少なくありません。かなりの数の在宅医療を行っている施設もあります。しかも、その強みは在宅(施設を含む)にて発熱等で入院が必要な場合には自院に容

易に入院させることができます。在宅支援診療所において問題となる「いざというときの入院先」を持っている訳です。今後、旭川の地域医療計画の中ではこのような病院の在宅対応能力をしっかりと評価することが必要と考えています。

また、そこから見えてきた旭川赤十字病院が今年の地域貢献として力を入れるべきことが、在宅支援診療所のサポートをすることです。病院が在宅診療を行った場合にはいざという時、自院に入院が出来ますが診療所ではできません。どこかの病院と契約していれば問題ありませんが、そうでない施設は入院先探しで苦労しています。このような施設が安心して在宅診療が出来るよう、旭川赤十字病院はバックアップ体制を整えていくつもりです。

これから医療提供体制は地域で協力し合って構築していく必要があります。旭川赤十字病院は地域から必要とされる病院であるべく今後も新たな取り組みを行っていきます。

旭川赤十字病院 院長
牧野 憲一



日本医師会生涯教育講座・日本歯科医師会生涯研修事業

第19回 旭川赤十字病院 医療連携の集い

Medical collaboration

日時 平成30年2月13日火18時30分から

会場 アートホテル旭川 3階ボールルーム
旭川市7条通6丁目 tel.(0166)25-8811

終了後、情報交換会を行います。



旭川赤十字病院 耳鼻咽喉科 部長
長峯 正泰

旭川赤十字病院 外科 医師
市村 龍之助

旭川赤十字病院 訪問看護ステーション 保健師長
松田 哲子

旭川赤十字病院 脳神経外科 部長
瀧澤 克己

①めまい患者に対する集団リハビリ治療の取り組み

②外科新設、肛門外来の紹介

③訪問看護ステーションの紹介

④脳神経外科治療と地域連携

■参加対象／

旭川市及びその近郊の医療機関等の職員
(参加される方の職種は問いません)

■お問合せ／

旭川赤十字病院 地域医療連携室
tel.(0166)22-8111 内線1188

参加無料

出前講座 のぞ案内

旭川赤十字病院は、地域医療支援病院として「地域の医療機関等との連携推進」を基本方針の一つに掲げています。この基本方針に基づき、当院の職員が地域の医療・介護施設に出向き研修会を行うことを「出前講座」と名付けました。地域の医療・介護施設に出向き、皆様と顔の見える関係、および、共に学ぶ体制を築くことにより、さらなる連携強化を目指したいと願っております。

皆様のお役に立てますよう様々な講座メニューをご用意させていただいております。今年度から実技を含めた講座を追加しましたのでご活用ください。どうぞお気軽にお申込みください。

出前講座の一例

- 感染対策～感染対策について
- 医療安全～転倒転落防止対策等
- 認知症看護
- 急変時対応
- 摂食嚥下機能評価と訓練
- 窒息～窒息の介助法
- がんリハビリ～がんリハビリテーション
- 褥瘡予防～褥瘡予防のポジショニング
- 失語症～失語症の病態と関わり方
- 構音障害～構音障害の病態と関わり方
- 口腔ケア～口腔ケアの方法
- 噫下調整食の調理の実際
- 腎臓病の食事～腎臓病の食事療法の基本
- 糖尿病の食事～糖尿病の食事療法の基本

お申込み・お問い合わせ先／

旭川赤十字病院 教育研修センター

TEL:0166-22-8111(内線1420・1421) FAX:0166-22-7622
E-mail:kenshuu@asahikawa-rch.gr.jp



ご希望の講座をご選択の上、メール添付(またはFAX)にて教育研修センターにご提出ください。

病院ホームページ <http://www.asahikawa.jrc.or.jp>

～がん登録の相談窓口～



と思います。

当院では、道のがん登録事業(地域がん登録)に参加しておりましたが、2013年4月に「北海道がん診療連携指定病院」の指定を受け、同年の症例より院内がん登録に移行しました。現在は、院内がん登録項目(99項目)のうち26項目を使用して、全国がん登録へがん症例情報の届出を行っております。

がん登録には、地域がん登録から業務移行され、国が実施する「全国がん登録」、がん診療連携拠点病院等が実施する「院内がん登録」、各学会や研究会が実施する「臓器がん登録」があります。

従来、各都道府県が実施していた地域がん登録は、がん患者が他県で受診または死亡した場合の情報収集が難しく、都道府県による較差が大きいことから、国が実施する全国がん登録へと移行されました。併せて、2016年1月より「がん登録等の推進に関する法律」が施行され、全ての病院と一部の診療所に全国がん登録へのがん症例情報の届出が義務化されました。旭川市内の病院や診療所では、この義務化を契機に全国がん登録を開始するという施設が多いのではないでしょうか。また、今までに開催された説明会や勉強会に参加しても、実際に症例登録の場面で迷う事があるか

現在6名で登録業務を行っておりますが、症例の登録項目で迷う事が多々あります。そのような場合は、スタッフ内で協議し情報を共有しながら進めている状況です。また、他施設のがん登録担当者に、電話やメールで問い合わせをすることもあります。知識としては、まだまだ足りない部分もありますが、少しでも他施設の方々のお役に立てればと思い、がん症例の登録項目で迷う事があれば、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ

旭川赤十字病院 医療秘書課 医療質管理係

TEL:0166-22-8111(内線1402) MAIL:tqm@asahikawa-rch.gr.jp

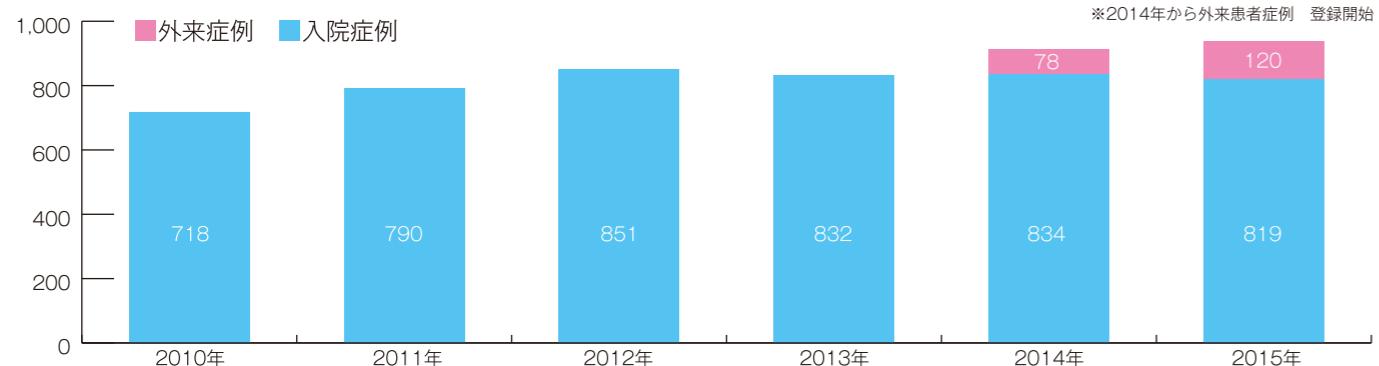
院内がん登録集計

当院におけるがん患者さんの動向、治療について2010年～2015年の実績を集計いたしましたのでその一部を紹介させていただきます。その他の項目につきましては、当院のHPに掲載しております。

病院ホームページ ➡ 地域の皆さまへ ➡ がん診療について ➡ 院内がん登録集計

病院ホームページ <http://www.asahikawa.jrc.or.jp>

■がん登録件数の推移(入院・外来別)



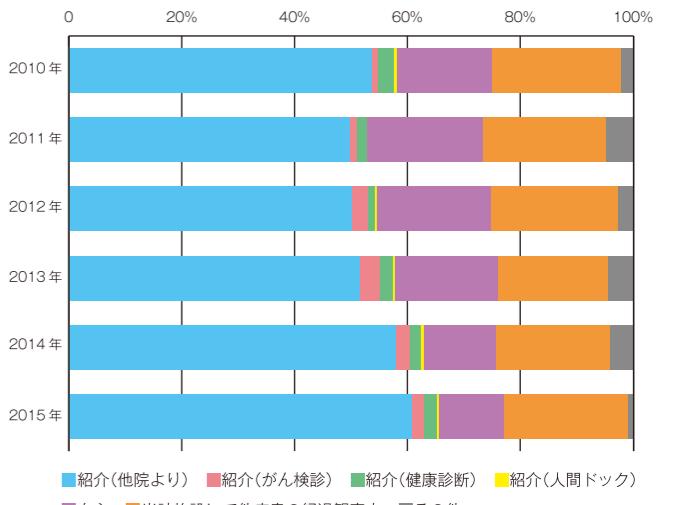
■がん登録件数の推移(部位別)

部 位	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
口腔・咽頭	23	31	21	15	19	24
食道	7	14	4	18	16	13
胃	67	64	95	92	104	108
大腸	123	170	206	195	171	210
肝臓	37	35	38	34	44	26
胆嚢・胆管	18	15	23	24	29	36
脾臓	26	20	26	40	43	50
喉頭	8	0	8	5	7	7
肺	70	63	85	85	88	70
骨・軟部組織	4	7	1	1	2	3
皮膚	14	21	13	18	29	29
乳房	36	19	25	33	19	42
子宮頸部	7	7	11	1	22	13

部 位	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
子宮本部	2	7	5	4	8	9
卵巣・卵管	0	6	2	5	4	4
前立腺	40	57	40	62	66	60
膀胱	37	49	58	50	51	60
腎臓・その他尿路系	42	48	42	44	43	40
脳・中枢神経系	21	46	29	8	23	24
甲状腺	62	37	27	22	25	27
悪性リンパ腫	25	30	40	31	37	27
多発性骨髄腫	11	15	9	10	7	10
白血病	22	14	21	13	21	14
他の造血器腫瘍	3	1	4	8	14	15
その他	13	14	18	14	20	18
全部位	718	790	851	832	912	939

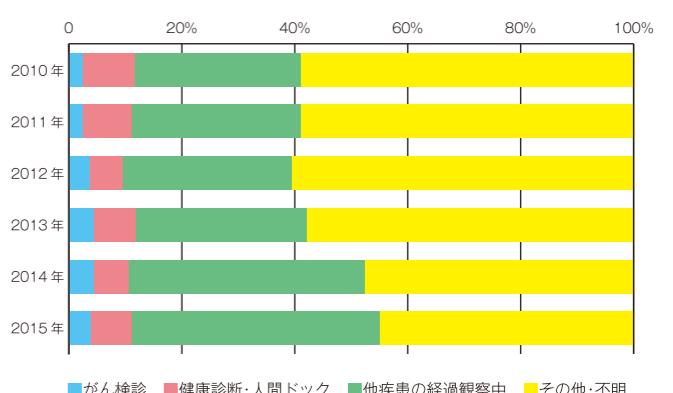
■来院経路

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
紹介(他院より)	338	365	414	408	492	548
紹介(がん検診)	7	9	24	28	21	19
紹介(健康診断)	18	13	10	19	16	21
紹介(人間ドック)	3	0	2	2	6	3
自主	107	151	168	145	107	105
当該施設にて他疾患の経過観察中	144	159	186	155	173	197
その他	14	37	23	36	35	10
合計	631	734	827	793	850	903
登録数	718	790	851	832	912	939
全登録数に対し症例区分2,3の占める割合	87.88%	92.91%	97.18%	95.31%	93.20%	96.17%



■発見経緯

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
がん検診	15	17	30	35	37	34
健康診断・人間ドック	59	64	49	59	53	67
他疾患の経過観察中	185	220	247	241	356	396
その他・不明	372	433	501	461	405	406
合計	631	734	827	796	851	903
登録数	718	790	851	832	912	939
全登録数に対し症例区分2,3の占める割合	87.88%	92.91%	97.18%	95.67%	93.31%	96.17%



■年齢階級別男女別登録件数

年 齢	男 性	女 性
0～9歳	0	2
10～19歳	2	4
20～29歳	6	19
30～39歳	31	54
40～49歳	84	116
50～59歳	300	228
60～69歳	846	465
70～79歳	1,129	600
80～89歳	634	408
90歳以上	44	70
合 計	3,076	1,966

